

ALYSSA PARTNERS



アリサ・パートナーズとマレーシアの LGB グループ、 東京都心一等地の大型賃貸マンションを取得

東京 2025年2月14日 - 本日、日本市場にフォーカスした不動産投資運用会社であるアリサ・パートナーズと、マレーシアの大手コングロマリットである LGB グループは、日本の大手企業より「グランドコンシェルジュ六本木」の取得を完了したことをご報告いたします。

2017年9月に竣工した本物件は、六本木通りに面し、ANA インターコンチネンタルホテル東京の向かいという利便性の高い立地に位置しています。134戸の高品質な住戸を備え、東京メトロ南北線六本木一丁目駅まで徒歩3分、銀座線溜池山王駅まで徒歩4分の距離に所在し、さらに、千代田線赤坂駅より徒歩8分と、都心の主要エリアへのアクセスにも優れています。

Chedli Boujellabia, Managing Partner, CEO & Co-CIO of Alyssa Partners, のコメント：「六本木という一等地で、LGB グループと共同で、この度の投資事業に取り組めたことを喜ばしく思います。本物件は、その立地と建物の品質から、賃料の上昇や、サービスアパートメントや家具付き賃貸への転換によるさらなるバリューアップの可能性を秘めています。今回の取得により、アリサ・パートナーズは日本の主要都市で117棟、5,300戸以上、運用資産1,740億円超の賃貸マンションのポートフォリオを保有し、日本住宅市場において主導的地位をさらに強化出来たことを嬉しく思っております。」

Sean Lim, Director at LGB Group, のコメント：「長期的な投資戦略の一環として、日本市場における資産クラスをさらに拡充出来ることを嬉しく思います。2016年以来、当社はオフィスや商業施設、ホテルなど、幅広い資産クラスへの分散投資を進めてきました。今回の住宅資産への投資は、アリサ・パートナーズとの戦略的パートナーシップのもと、日本市場におけるさらなる成長機会を追求するものです。引き続き、日本は当社にとって重要な投資対象国であり続けます。」

以上 -

Press Release

For immediate release

アリサ・パートナーズについて

アリサ・パートナーズは日本市場にフォーカスし、住宅、ホテル、オフィス、商業施設といったアセットクラスで総額 2,550 億円超の運用資産を有する独立系の不動産投資運用会社となります。これまでに様々な物件タイプへの投資を行ってきており、特に高品質で収益性の高い賃貸マンションに関しては、日本で最も積極的な投資家の一つとしての立場を確立してまいりました。

今後も、アセットクラスにとらわれずに、コア、コア・プラス、バリュー・アッド、開発プロジェクトなど、様々なリスク領域に応じた投資機会を積極的に追及してまいります。

詳細については、www.alyssapartners.com をご覧ください。

LGB Group について

LGB グループは、1978 年に設立されたマレーシアのコングロマリットであり、多様な事業を展開しています。同社の事業ポートフォリオには、水道事業、廃棄物管理、下水処理、発電、道路コンセッションなどの公共インフラ事業のほか、建設、不動産開発、情報技術、ホスピタリティが含まれます。現在、LGB グループはマレーシア、中国、オーストラリア、日本、英国などで事業を展開しています。

詳細については、www.lgbgroup.com をご覧ください。

メディアの連絡先- Alyssa Partners

アリサ・パートナーズ 伊勢 幸恵 yise@alyssapartners.com 03-6809-1337